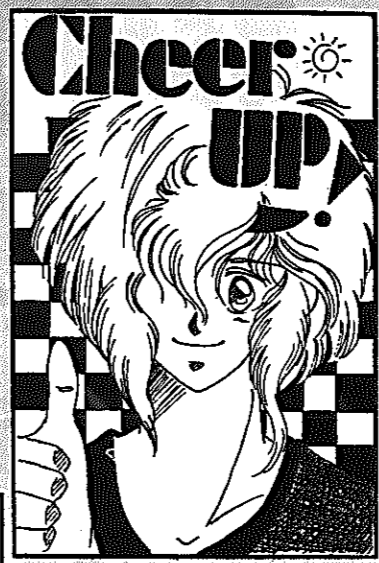


いふまで CLUB

今月は、ちょっと作品数が少なかったです。テストで忙しかったかな。力作を待っています。また、がんばって、送ってくださいね。

- ♥ イラストは官製はがきに黒1色で、はっきりと書いてください。
 - ♥ ペンネームを希望する人も、住所・氏名・年齢はお忘れなく。
 - ♥ あて先は 〒950-12 白根市大字白根1,235 白根市役所 企画調整課 広報広聴係 です。
 - ♥ 採用分には、粗品を差し上げます。
- アダルトの参加も大歓迎!



▲ペンネーム 犬谷素朴さん(大湊2・21歳)



▲ペンネーム THE・MOMOTAROHさん (白井・14歳)

※THE・MOMOTAROHさん お名前を係までお知らせください。粗品が送れないヨーン



▲ペンネーム 麗さん(日の出町・13歳)



▲ペンネーム うさ子さん (四ツ岡野・小4)



毎年 七生会を 応援に来ます



私たちは新大の学生とOBなんですが、七生会の皆さんのところへ来るようになってから今年で九年目です。みんな私の店に集まる常連たちです。年に一度の六月第一日曜日を楽しみに、毎年集まっているんです。富山や埼玉からも来ます。七生会の法被を着て、凧を揚げるんですよ。一年に一回、人間のきずなを確認できる貴重なひとときです。(倉沢十四男さん・新潟市)

ふるさとの伝統を守る
巻凧の部の七生会組はその名の通り、昭和二十年生まれの同級生七人が中心。当時は卒業と同時に、集団就職などで友達がほとんど町を離れていきました。そこで白根に残った七人で会を作ろうという事になり、大凧合戦の巻凧の部に参加することにしました。



紹介する人 古寺勝一さん (南新町・43歳)

グループ 紹介 (28) 七生会



①白根の始まり

白根の始まりについては、大正時代に編さんされた「中蒲原郡誌」に記されています。白根という地名、大凧合戦の由来などがその中に書かれています。そこに書かれている内容は史実として市民に浸透していて、白根の始まりについても最近までは上杉謙信のころ(天正時代)の農地開発に始まるとされてきました。白根という地名も、袖山氏が開墾を進めた折りに、掘っても掘っても白い根が出てきたという記述に基づいているとされています。

断定するのは、たいへん危険なわけですが。例えば開墾が始まったとされる天正時代、「しろね」はずでに水運中継の村として知られていたことが明らかになっていきます。また、新発田藩ほかの史料によると、現在の国道方面の新田開発にかかわる興味深い記述が見られます。慶長時代以後、小林、白井地区方面の住民がわざわざ出かけてきて開発しているにもかかわらず、不思議なことに先の白根地区の住民はほとんど参加していないのです。このことは中世以来、白根の産業の主体が地の利を得た運輸商工業であったことを示しています。では、どのように町が発展していったのでしょうか。新発田藩や千代沢家等の史料を見ると、材木町(一の町)から魚町へ、



表通りから国道方面へ、徐々に拡張していったことが分かります。これは慶長時代の固定資産税や元禄時代の評価替えに伴う戸数の変化で分かれます。つまり、白根はずでに天正時代には水運をよりどころに、活発な運輸商工業を営むかなり大きな町だての村であったことが分かります。これは「中蒲原郡誌」の記事とは異なる見解になります。したがって、白根地区の先祖は少なくとも天正以前に求められ、商人・職人が主体であったと考えて差し支えないでしょう。(詳しくは発売中の「白根市史」巻七、第二章白根町を参照ください)



弥生参詣越後道中大廻り六 (白根市史巻七、一九九ページ)

もうすぐ夏休み。催し物情報

<p>植物・昆虫の名前を調べる会</p> <p>□とき 8月29日(火) 午前10時～午後3時 □ところ 白根地区理科教育センター(教育委員会庁舎内) □内容 名前を調べたい植物や昆虫の標本を時間内に直接持ってきてください。受講無料 □対象者 小・中学生 □問い合わせ 同センター(☎372・2924)</p>	<p>親子 標本製作講習会</p> <p>□とき 7月16日(日) □ところ 白根地区理科教育センター(教育委員会庁舎内) □内容 植物標本の作り方(午後1時～2時30分) 昆虫標本の作り方(午後3時～4時30分) 受講無料 □募集人員 小学生とその保護者20組 □申し込み 7月10日(月)までに同センター(☎372・2924)へ電話で申し込みください。</p>	<p>親子 水泳教室</p> <p>□とき 7月31日(月)～8月5日(土)の6日間 午後6時～8時 □ところ 白根高校プール □対象者 市内小学校在学の泳げない児童とその保護者50組 □受講料 親子1組700円 □申し込み 教育委員会社会体育係(☎373・3171)に備え付けの申し込み用紙に必要事項を記入し、7月20日までに同係へ直接申し込みください。定員になりしだい締め切りますので、お早めに。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------